

テレメータ D5 シリーズ

取扱説明書

電源カード

形式
D5 - PS

ご使用いただく前に

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・電源カード1 台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

● RUN 接点出力について

- ・ RUN 接点出力の動作
テレメータ通信カード(形式: D5 - LT1、D5 - LT2、D5 - LT3)が正常に通信している場合、電源カードの RUN 接点出力が ON になります。
- ・ 上位通信で使用する場合
 - ① ベース(形式: D5 - BS)で使用される場合、RUN 接点出力はテレメータ通信カード用(形式: D5 - LT2、D5 - LT3)です。上位通信カード(形式: D5 - NM1、D5 - NE1)では使用できません。
 - ② 上位監視用ベース(形式: D5 - BSW)で使用される場合、RUN 接点出力は使用できません。
- ・ 電源の 2 重化または 2 系統で使用する場合
増設電源カード用ベース(形式: D5 - EX1)に実装した電源カードの RUN 接点出力は使用できません。
- その他
 - ・ 本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

ご注意事項

●供給電源

- ・ 許容電圧範囲、電源周波数、消費電力、消費電流
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。
交流電源: 定格電圧 100~120 V AC の場合
85~132 V AC、47~66 Hz、約 90 VA
定格電圧 200~240 V AC の場合
170~264 V AC、47~66 Hz、約 90 VA
直流電源: 定格電圧 24 V DC の場合 24 V DC ± 10 %
約 45 W、約 1.8 A

●取扱いについて

- ・ 本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源を遮断して下さい。

●設置について

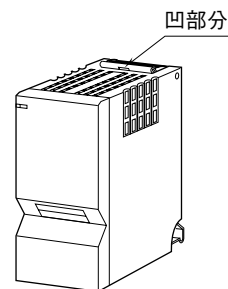
- ・ 屋内でご使用下さい。
- ・ 塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・ 振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・ 周囲温度が -10 ~ +55℃を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 %RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

- ・ 配線は、ノイズ発生源(リレー駆動線、高周波ラインなど)の近くに設置しないで下さい。
- ・ ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

取付方法

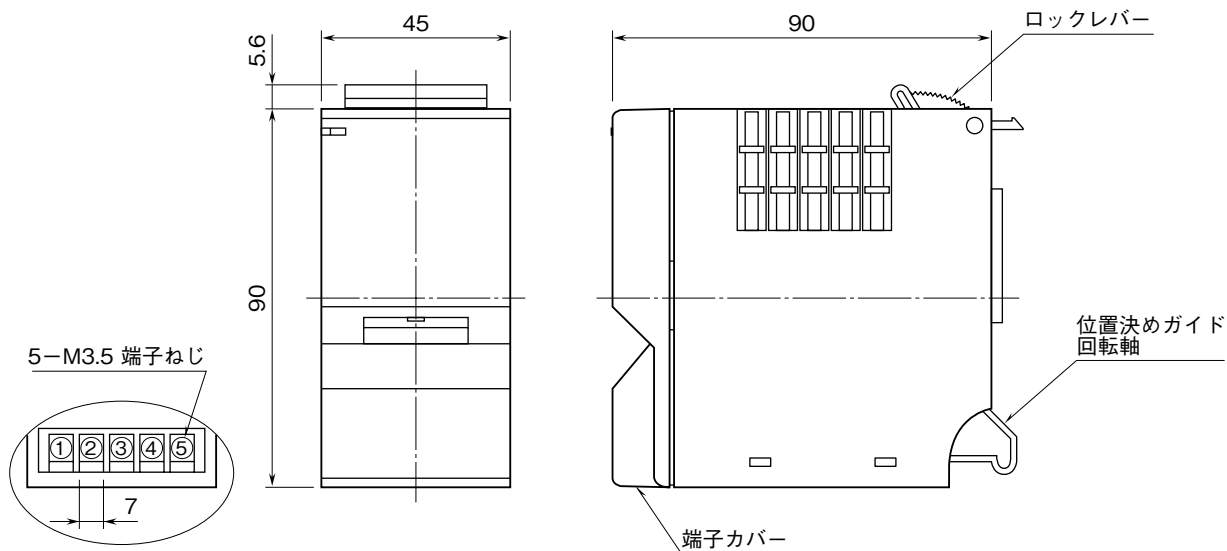
ベース(形式: D5 - BS □)または増設電源カード用ベース(形式: D5 - EX1)をお使い下さい。
ベースから D5 - PS を取外す際は、ロックレバーの凹部分(下図参照)をマイナスドライバー等で押して下さい。



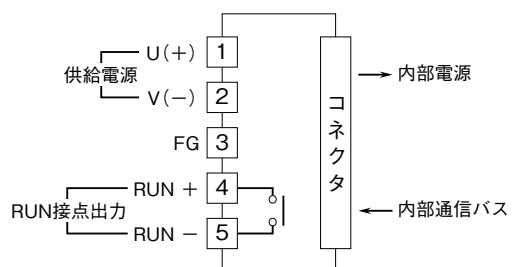
接 続

各端子の接続は下図を参考にして行って下さい。

外形寸法図 (単位: mm)



端子接続図



保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。